

高齢化社会に一役

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる社会のため（公社）十和田市シルバー人材センターは、会員の就業やボランティア活動を通じて事業を展開しています。

働く高齢者 意欲満々

現在、日本の平均寿命は世界一の水準にあり、歴史上経験したことのない速さで高齢化が進み、いまや「超高齢化社会」を迎えつつあります。

健康な高齢者は年々増加傾向にあり、65歳以上の高齢者の多くが、現役で活躍し、地域の活性化に貢献しています。そのため、従来の「高齢者」観は、高齢者の実態とそぐわなくなってきたおり、今後、多くの高齢者がよりいっそう元気に、さまざまな場面で活躍できる社会が創出されると予想されます。



まだまだ現役で活躍中

十和田市シルバー人材センターは、平成4年に設立されました。会員は60歳以上の市民であれば登録できます。設立当時233人の会員は、平成28年12月現在で467人の登録があり、就業やボランティア活動を通じて地域社会の活性化と福祉に貢献しています。

主な仕事は、公的機関や民間企業、一般家庭から依頼される除草、草刈、せんてい（枝切り）、屋内外の清掃など。請負や委任作業、一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業のかたちで同センターが受け持ち、会員の皆さんに就業を提供しています。

会員の最高齢者は高瀬長三郎さん（90歳）。平成18年に登録し、現在、毎週金曜日、北里大学小動物焼却処分業務に従事しています。「運転免許証の更新も無事に済み、まだまだやる気いっぱいです。」

せんてい班で活躍しているのは、桜田一雄さん（86歳）、水尻義光さん（83歳）、太田定男さん（82歳）、福澤誠一さん（81歳）たち。

若い人にはまだ負けませんよ」と意欲を見せています。

後継者の加入を期待

水尻さんは「そろそろ引退を考えていますが、後継者がなかなかいません。引退するとお客様に迷惑がかかると思います、頑張っています。60歳代の皆さん、一緒に働きましょう」と新規加入を促します。



せんてい作業はセンスが生きる

また、草刈班の下川原実さん（84歳）は、「シルバーで仕事をするので、楽しさが膨らみ、毎日充実しています。お客様から『ありがとう』と言われるのが喜びです」と笑顔で語ります。



草刈りで景観維持

活躍中です。



楽しい農作業のひとつ

シルバー人材センター会員募集中

現在、定年延長や再雇用などで60歳代前半の会員登録が少なくなっています。特に、せんていや草刈、農作業、家事援助、子育て支援ができる会員が少なくなっていますので、ぜひシルバー人材センターの会員になって、知識や経験を生かして働きませんか。

●加入条件

本市に居住する60歳以上（原則）の健康で働く意欲のある人で、シルバー人材センターの趣旨に賛同する人。入会説明は毎月第2、4水曜日の午前9時から、シルバー人材センター（青少年ホーム内）で行っています。

●主な仕事…高齢者にマッチした仕事です。

- ▶一般作業分野…農作業、草刈、草取り、屋内外清掃、側溝清掃、食器洗い、除雪など
- ▶技能分野…庭木のせんてい、薬剤散布、蜂の巣駆除、雪囲い、大工仕事、車両運転業務など
- ▶サービス分野…家事援助、子育て支援など
- ▶その他…公民館の受付、施設管理、広報紙の配布、宛名書き、調査事務など

申問 (公社) 十和田市シルバー人材センター ☎ 250222

このほか、大澤慶助さん（81歳）、角田弘美さん（80歳）は、「水道施設や工場の敷地内など複数人で草刈作業などをできる現場は、協力しながらやれるので、まだまだ頑張りたい」と意気込みます。

同センターでは、高齢者のそれまでの人生で培ってきた知識・経験をもとに社会に貢献する人材を育てるとともに、会員の皆さんは、学びと実践を繰り返しつつ、自己実現と生きがいを創出しています。